

沖縄こどもみらいお仕事体験イベント



理事 稲富 仁

令和5年8月19日(土)10:00~17:45、沖縄コンベンションセンター展示棟にて損保ジャパン主催による沖縄こどもみらいお仕事体験イベントが行われた。今回は昨年につき第二回目の開催である。対象は小学生であり様々な職業体験を通じて仕事の楽しさや大変さを学んでもらい、自身の将来設計のヒントにしてもらう目的でのイベントである。昨年は浦添市産業振興センター「結の街」で開催されたが、参加可能人数をはるかに超えた応募があったため、昨年よりも広い会場での開催となった。そのため、出展企業は17ブースから31ブースに増えた。

県医師会のブースでは医療を体験してもらうために北原佑介先生の監修の下に浦添総合病院から医師・救急救命士二名のチームで参加していただいた。その他、テレビ局・新聞社・ホテル業・自動車業・航空会社・保険会社・保育士・自衛隊・観光産業・銀行・運送業・警備会社・スポーツ選手などたくさんの業種があった。昨年の会場と異なりワンフロアになり、かなり

回りやすくなっていた。

引き続き新型コロナ感染予防の観点より入場者数の制限を行って開催された。わずか3週間で応募は約4,500名に達したが、抽選の結果第一回目の倍の600名が参加された。

【医師会ブース体験内容】

- ①問診・バイタルチェック (伊藤 菜緒先生)
- ②胸骨圧迫・AED
(救命救急士 都丸 和佳乃さん)
- ③気管内挿管・咽頭喉頭部異物除去
(救命救急士 當銘 優さん)
- ④総括：実際の診察及び救命処置の流れ
(北原 佑介先生他)

まず各々のブースに分かれて①②③を回り、診察や蘇生に関する体験をした後に、④では北原先生が患者となり問診やバイタルチェックを行っている時、急に倒れてしまい救命処置が必要になる場面設定。実際の救命処置はシミュレーターで行う。最後に蘇生が成功し子どもたちに対して「助けてくれてありがとう」と感謝



問診・バイタルチェック



総括

の言葉を伝えるというシナリオである。北原先生の迫真の演技と蘇生成功後に感謝されてはにかんだ子どもたちの笑顔が印象に残った。上記一コマ45分間の計6回(4～6名ずつ)であり、医師会ブースは合計32名が参加された。

事後の保護者アンケートは32人中24人に回答いただいた。

体験した仕事を選んでよかった100%、子ども自身で医師会ブースを希望した58%、仕事体験内容に大変満足した79%、子どもが高い志を持たせたかについてはそう思う以上が96%であった。また、参加した子どものうち半分の16名が将来医師になりたいと回答された。ま

た、少人数であり手厚く説明してもらいわかりやすかったことや、実際医療機器を使用できたことが良かった。参加者みんなで協力し救命処置を体験できたことに、とても刺激を受けていたなどの感想もあり今回のイベントは好評にて終了できたものと思われる。

今回、医師の仕事体験の希望者が多かったにも関わらず、抽選により多くの子どもたちが参加できなかった。今後も医師会として積極的に参加し、子どもたちが体験を通じて医療に興味を持ち、医療業界で活躍してくれることを期待したい。

ご協力いただいた北原先生・浦添総合病院の皆様、事務局の皆様有難うございました。



胸骨圧迫・AED



気管内挿管・咽頭喉頭部異物除去

